

# 有田巧

TAKUMI ARITA  
Kumamoto Hibi

# 熊本日々展

2017年7月5日(水)ー8月27日(日)

開館時間 10:00~20:00 火曜日休館

会場 熊本市現代美術館ギャラリーⅢ 入場無料

## 有田巧一人の生活、記憶の器

「戦中の地震や戦後の火災によって、出身地の鳥取も、大学生から暮らした東京も、古い建物はそう多くは存在していなくて、熊本に来てから、これまでの暮らしになかった風景だと思った」と、古い建物や町並みをスケッチし始めたきっかけを有田は語る。「のびやかでみずみずしい色彩」「紙の吸い込みやにじみも表現の一部になる」<sup>1</sup> 水彩画が合うと思ったらしい。作品に描かれた古い瓦や漆喰の塗り壁、年期の入ったコンクリートや木材の表情豊かな灰色や茶色など色彩表現の繊細さを見れば、有田の気持ちに寄り添うことが出来るだろう。

住まなくなった建物より、人の生活がある方が、描いていて楽しいらしい。留まって描いているうちに、店先や軒先から住人が顔を出して、会話が始まり、その家の記憶を、歴史を知るようになる」と有田は語る。

建築史家・建築家の藤森照信は、「建物というのは、…実用の器と考えられていますが、…それ以上に、「人々の記憶の器」なんです。」<sup>2</sup> と記したが、平成28年熊本地震の被害ののちに、家々や店舗が更地へと変化した景色が、ただ通り過ぎる人々の心にさえるもの悲しさを与える理由がそこにある。

有田自身も、被災後しばらくは町を歩くものの、描く気持ちには到底なれず、最近ようやく描く気持ちになったそうだ。本展では、2010年からの作品群とともに、シリーズ最新作を発表する。

(熊本市現代美術館主任学芸員) 富澤治子

注

1 有田巧「日々好日(15) みず糸(水彩画)」、俳誌『阿蘇』2010年12月号、11頁。  
2 藤森照信「建築史家・建築家から見たジブリの建造物」、「ジブリの立体建造物展」展覧会カタログ、2014年初版、2016年6刷、株式会社スタジオジブリ、18頁。



第37分団 五福 2010 作家蔵

## 関連イベント

### □アーティストトーク

7月9日(日) 13:30~14:00 展覧会場内 参加無料

### □水彩画ワークショップ 講師：有田巧(出品作家)

7月9日(日) 14:15~15:45 キッズファクトリー 参加無料

定員15名(要事前申込) 対象：小学生から大人まで

お問い合わせ・お申込み先 096-278-7500



電信町くすり湯 2010 作家蔵

## 有田巧 ありた・たくみ

1952 鳥取県生まれ

1978 東京造形大学卒業

1980 東京藝術大学大学院修了

1988 第3回小山敬三美術振興財団海外研修にてイタリア留学。

2000 第76回白日展・内閣総理大臣賞受賞

2001 第3回雪梁舎フィレンツェ賞展大賞受賞

現在 崇城大学芸術学部教授 白日常任委員

## 個展(2010年以降より抜粋)

- 2010 「有田巧 水彩画展 熊本日々」(くまもと阪神、熊本)
- 2011 「有田巧 水彩画展 熊本日々 其の貳」(県民百貨店、熊本)
- 2012 「有田巧 水彩画展 熊本日々III」(県民百貨店、熊本)
- 「有田巧 個展」(松坂屋本店、愛知)
- 2013 「有田巧 水彩画展 熊本日々IV」(県民百貨店、熊本)
- 「有田巧 個展」(高島屋、大阪)
- 「有田巧 個展」(天満屋、米子/広島/福山/岡山/高松)
- 2014 「有田巧 水彩画展 熊本日々V」(県民百貨店、熊本)
- 2015 「有田巧 個展」(梅田画廊、大阪)
- 2016 「有田巧 個展 フレスコ画(2000-2016)-少年記-」(崇城大学ギャラリー、熊本)
- 「有田巧 フレスコ画小品展+箱繪展」(なかお画廊、熊本)

## グループ展(2000年以降より抜粋)

- 2001 「田川市美術館大賞 第10回記念・英展」(田川市美術館、福岡)
- 2003 「マケドニア・スツルミカ国際造形芸術祭」(スツルミカ、マケドニア)
- 2006 「アルス・クマモト」(熊本市現代美術館、熊本)
- 2007 「21世紀展」(東京美術倶楽部 ~ 2014)
- 2014 「公募団体ベストセレクション展」(東京都美術館、東京)

## 熊本市現代美術館 CAMK www.camk.or.jp

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3  
電話 096-278-7500 FAX096-359-7892

